

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社片桐製作所

上山市にある株式会社片桐製作所の矢作拓さん取材しました！
矢作さんは、山形大学工学部を卒業した後、2008年に入社しました。
現在は、山形事業所の超砥粒工具部で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

私たちの会社は、金属の塊をプレスすることで、自動車部品を製造する事業がメインです。プレス加工には金型を使います。金型とは、たい焼きを作るときの型の部分だと考えればわかりやすいと思います。

金型は、とても硬い金属でできていますが、その金属を削って金型にするためにいろいろな工具を使います。その工具の開発や製造を担当するのが、私が所属する DW(ダイヤモンドホイール)係で、ダイヤモンドの粉末がたくさん入った砥石(といし)を開発しています。私の主な業務内容としては、班長として DW 係を円滑に運営すること、新製品の開発、全国での営業活動の3つです。



——普段からダイヤモンドを見ているのですか？

皆さんが想像しているような素晴らしいダイヤモンドではなくて(笑)、とても細かくて、小麦粉のような感じの工業用ダイヤモンドです。

——そんなに細かいのですね！新商品の開発はどのような感じで行うのですか？

数年前から、現在製造している砥石と全然違うタイプの砥石を開発するためのプロジェクトが始まりました。私はその開発に1年目からかかわっていますが、ようやく最近になって軌道に乗ってきましたので、いよいよ売り出していこうというステップに入っています。

——現在製造している砥石とどのように違うのですか？

形はほとんど一緒ですが、より使いやすく、効率的に加工できるようにした新製品です。いろいろな用途で使える形ですので、今まで当社の砥石があまり入り込めなかった業界でも使っていただけるように開発しているところです。

——片桐製作所の砥石は、こういったものを加工するのに使われるのですか？

例えば、金型に使われるような、鉄よりはるかに硬い超硬合金を効率的に加工するために、当社の砥石が必要になります。お客様によっては、セラミックスや樹脂、アルミ、ガラス等の様々な材料を加工するのに使っています。



——その砥石は、片桐製作所で自動車部品を生産するときにも使っているのですね。

そうですね。砥石を始めたきっかけは、もともと本社でやっていたプレス加工のための金型を自分たちで作ろう、となったことです。金型を内製化したら、今度は金型を作るための工具も作ろう、さらにはその工具の材料も作ろうというように、どんどん内製化を進めてきました。

片桐製作所のもっとも特徴的なところは、一貫生産です。金型の材料となる超硬合金を作って、砥石を作って、その超硬合金を砥石で加工して金型を作って、そしてその金型を使ってプレス加工して自動車部品を生産しています。ここまで一貫して生産しているところは、世界でも珍しいのではないかと思います。

(2) 職場編

——片桐製作所に就職を決めた理由を教えてください。



面白いことをいろいろやっている会社だと思ったからです。今は自動車部品を主に製造していますが、もともとはミシンの部品を旋盤一つで作りはじめたのが片桐製作所の始まりだそうです。そこから工作機械の部品など、時代に応じていろいろなことをやってきた会社です。今の時代はプレス部品ですが、砥石や金型にも広がっていて、どんどん新しいことにチャレンジしている会社で面白そうだなと思いました。

あとは、すぐそばに蔵王がありますよね。私はスキーが大好きなので、それも理由としては結構大きいです（笑）。最高のロケーションです。

——大学で学んだことと今の仕事は関連がありますか？

ある程度は関連しています。大学でも研究をしましたが、そのとき学んだ考え方や方法は今も生きています。例えばデータの取り方や、パソコンスキルですね。研究開発を大学で経験したことは大きいと思います。

——入社してよかったと感じるところはありますか？

片桐製作所の社風でもありますが、やりたいことを提案すればやらせてもらえるところですね。ものづくりが好きな人が多くて、特に50代・60代の先輩は会社をここまで引っ張って伸ばしてきた人たちということもあって、すごくパワフルです！自分にとってはとてもいい環境です。

——やりたいことの提案はどのようにするのですか？



ものづくりは「良いモノを安く早く作る」のが大事ですが、1つのモノを作るには様々な工程があります。そのうちの1つでも変えるのはなかなか大変なことです。作り方を変えて失敗してしまったら取り返しがつかないし、作り方を変えたことによって他の工程に影響が出てしまうかもしれません。

ですから、方法を変えるのは結構ハードルが高いのですが、「こういう工具を使うとこれくらい効率的になるからやってもいいですか？」というように、理にかなった提案ができれば、やりたいことが実現できると思います。

——新しいことにどんどん取り組む社風があるのですね。

年齢が高い社員の方々も若い社員たちと一緒に改善することに力を入れていて、年代がバラバラのチームで改善活動に取り組んでいます。1人で考えてしまうと、どうしても考えが凝り固まってくるので、いろいろな年代の方と悩みや問題点を話す場があると、新たな気づきを得ることが多いですね。

——入社して大変だったことはありますか？

工学部出身でしたが、ものづくりのことは何も知らなくて、0からのスタートでした。全部が勉強で、一つひとつ覚えてやってみて…が大変でした。10年くらい経つと、「ものづくり脳」になってくるのか、新しいこともすっと入るようになりました。その脳が変わるまでは、新しいことをどんどんインプットしなければいけないのが大変でしたね。



(3) ある日の過ごし方編

●8:00 【出社】

全員でラジオ体操をします。気合いを入れてやります。
工場全員での朝礼をしてから、係に分かれての朝礼を行います。



●8:20 【午前の業務開始】

まずはメールチェックをします。
前日に来た注文の確認をして、図面作成と見積もりをします。
新製品の試作品を製作します。



●12:00 【お昼休憩】

社員食堂で昼食をとります。



●12:50 【午後の業務開始】

試作品製作の続きをしたり、ミーティングをしたりします。
お客様から連絡があったときは対応します。



●17:10 【退勤】

子どもを保育園に迎えに行ってから、買い物をして帰ります。



(4) むらやまでの暮らし編

——出身はどちらなのですか？

私の出身は東京で、大学は山形大学工学部です。大学時代は米沢にいて、ずっとスキーをしていました。山形には縁もゆかりもなかったのですが、高校でスキー部に入っていて、大学でもスキーをしたいと思ったのが山形に来たきっかけです。

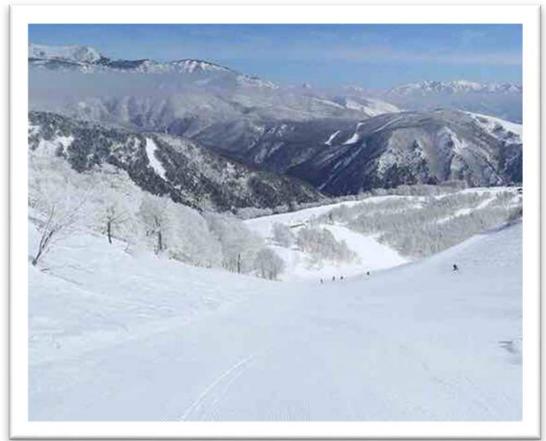
——山形のどんなところが好きですか？

街と自然の距離感がちょうどいいところですね。街からちょっと車を走らせたなら山に行けるので、そのバランスが自分にちょうど良いと思いました。就職するときも山形だけを考えていました。

——山形で就職を考えたきっかけを教えてください。

大学進学で山形に来て、山形が好きになったからです。大学時代には、スキーのインストラクター研修生をしていて、小学生にスキーを教えながら滑っていました。勉強というよりはスキーに力を入れていました（笑）。

山形にいれば、月山で5月から7月まで滑れて、米沢の天元台は11月から滑れます。だから8~10月さえ乗り切れば、山形ではずっとスキーができるんですよ！昔は年間100日くらいスキーをしていました。



——ええっ！そんなに！

今は、年2回ほどしか行けていません。まだ子どもが小さいので。プライベートでの目標は、子どもに早くスキーを教えることですね。

——村山地域に住んで良かったことはありますか？



公園が多いことです。思いつく限りでも5カ所は大きな公園があります。こういう環境はなかなか都会にはなくて、子どもを遊ばせるのに良いですね。室内遊具施設も沢山ありますし。休日は子育てに専念しているので、近くに公園があるのはかなり助かっています。

——充実した休日ですね。好きな食べものは何かありますか？

ラーメンが好きですね。山形に来て、冷たい肉中華がすごく美味いと思いました。山形はラーメン屋がとても多いですよ。会社の中にもラーメン好きが多くて、うちの工場のトップもラーメンマニアみたいな感じです（笑）。

(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？

今取り組んでいる新製品がまだ立ち上がったばかりで、広く販売していくのはこれからなんです。この新製品をSTRAX（シュトラックス）ブランドの1つとして確立させることが目標ですね。



——今後、就職活動を行う方にメッセージはありますか？

学生の時しかできないことがあると思いますが、そういうことを後回しにしてしまうと、働きだすと想像以上に忙しくて何もできなくなってしまいます。就職活動のアドバイスというよりも、「学生時代にやれることをやっておいた方がいいよ」と伝えたいですね。

——どんな人が片桐製作所に向いていると思いますか？

片桐製作所には社員が約 250 人いますが、この規模だと部署によって求められるタイプが結構変わってきます。例えば、検査部門だと決められたことをスピーディーに正確にやるタイプ、開発部門は新しいものが好きでいつも違うことをやっていたいタイプが向いていると思います。

一概にこういう人がいい、というのは特にはないのですが、「素直な人」はいいと思います。片桐製作所に入社した人で、片桐に特化した勉強をしてきた人はほとんどいないと思います。そこで、知らないものを知らないと言えたり、億劫がらずに分からないことを聞けたり、そういう姿勢はずっと大切だと思います。

——ありがとうございました！

会社全体として新しいことに取り組んでいる姿勢がバリバリと伝わってきて、これから成長していきそうな企業だと思いました。

山形に住んでいると当たり前のようにスキー場が近くにありますが、これはとても魅力になるんだということが新たな発見でした。また、一生懸命働くパパたちはとても格好いいと感じました！



【インタビュアー：山形大学工学部 河田垂依、人文社会科学部 小笠原彩聖、理学部 奥谷友里加】

株式会社片桐製作所

- ・所在地 山形県上山市金谷字鼠谷地 1453
 - ・設立 昭和 22 年 6 月
 - ・従業員数 231 名（男性 165 名、女性 66 名）
 - ・URL <http://www.katagiri.co.jp/>
-